

三重県財政の現状

2016年 伊勢志摩サミット 開催決定！
(5月26・27日)

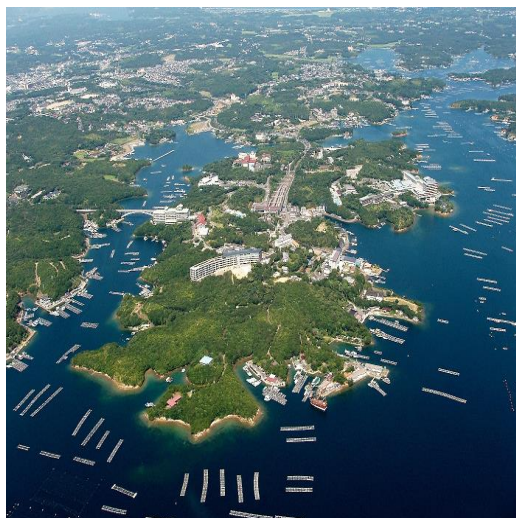


平成27年10月
三 重 県

目 次

1 伊勢志摩サミット	3 ページ		
○ 2016年 伊勢志摩サミット 開催決定！	4	○ 基金残高の推移	28
○ 開催決定時の安倍首相の発言要旨	5	○ 債務負担行為の推移	29
○ なぜ三重県に誘致？	6	○ バランスシート(普通会計)	30
○ サミットを通じた「Mie」の「進化へのビジョン」	7	○ 行政コスト計算書(普通会計)	31
○ 推進体制	8		
○ 経済効果	10	3 公営企業会計等の財務状況	32
○ 伊勢志摩サミット開催による期待と懸念	12	○ 公営企業会計の財務状況	33
○ 三重県の概要	13	○ 地方二公社の財務状況	34
○ 優れた交通アクセス	14	○ 第三セクターに対する損失補償	35
○ 三重県産業の特徴	15		
○ 三重のグローバルカンパニー	16	4 財政指標	36
		○ 主な財政指標の推移	37
2 三重県の予算、決算	17	○ 実質公債費比率と将来負担比率(財政力指数補正)	38
○ 平成27年度当初予算の概要	18		
○ 平成27年度6月補正後一般会計歳入・歳出予算	19	5 今後の県政運営	39
○ 普通会計歳入決算の推移	20	○ 三重県行財政改革取組(平成24年3月)	40
○ 県民1人当たり地方税と地方債残高	21	○ 三重県行財政改革取組・財政運営の改革	41
○ 普通会計歳出決算の推移	22	○ 中期財政見通し	42
○ 社会保障関係経費の推移	23		
○ 県債発行額の推移	24	6 起債運営	43
○ 公債費・県債残高の推移	25	○ 起債運営の基本的な考え方	44
○ 人件費及び職員数の推移	26	○ 今年度の起債概要	45
○ 普通建設事業費の推移	27		

1. 伊勢志摩サミット



2016年 伊勢志摩サミット 開催決定！



Mie Gov. Eiji Suzuki is interviewed Friday in Chiyo-da Ward, Tokyo. SATOKO KANEHARA

For Mie, 2016 summit chance to enhance area's tourism

Sayani Daikuron
STAFF WRITER

Mie Prefecture sees next year's Ise-Shima Summit as the best opportunity to build infrastructure and nurture human resources to welcome more foreign tourists, hoping to achieve sustainable regional growth beyond 2016. Mie Gov. Eiji Suzuki said.

"Foreign visitors only account for 1.8 percent of the annual total number of visitors who stay overnight or longer in Mie Prefecture. Mie has a lot of room to grow," the governor said in an interview with The Japan Times on Friday.

Since Prime Minister Shinzo Abe's announcement earlier this month that the cities of Ise and Shima will be the venue

for next year's Group of Seven Summit, Mie has already begun to see a direct economic impact, Suzuki said.

For example, the stock price of Mie Kentsu Group Holdings Inc., which provides taxi and bus services in the area, rose by the maximum allowable single-day gain on the Tokyo Stock Exchange following Abe's announcement June 5.

By the time of the summit, the prefecture plans to add 1,000 Wi-Fi access points and increase road signs both in English and Chinese. It will also invest in human resources to nurture more English and Chinese speakers, as Taiwanese and mainland Chinese are Mie's two largest groups of foreign tourists, the governor said. It also plans a project to attract tourists by tying up with

U.S.-based travel website TripAdvisor. The details will be announced later this week, he said.

The direct economic impact from the summit will be around 351 billion, thanks mostly to infrastructure projects, but the indirect impact, including tourism, will amount to around 117.5 billion, estimates from think tanks say.

"It's true that the Hokkaido Tohoku Summit's economic impact on the local economy did not last very long. But what didn't even last the summer?" Suzuki asked, adding that tourism in Japan is growing massively compared with 2006.

Mie, which boasts Ise Shrine among its traditional landmarks, also has beautiful na-

tural scenery, which means it has a good chance of attracting more tourists beyond 2016, said the former trade and industry ministry official, who served in the Cabinet secretariat during Abe's first stint in office from 2006 to 2007.

The prefecture had initially expressed willingness to host a ministerial summit, but was actually a late comer in declaring its candidacy for the G-7 leaders' venue. It entered the race on Jan. 21, long after the central government's deadline last August.

Asked why Mie's decision came so late, Suzuki blamed financial constraints. For the Hokkaido Tohoku Summit, for example, the local government had to cough up some 9.1 billion, but the city of Niigata, which hosted the labor min-

ister's summit in 2008, only shouldered about ¥100 million, less than 10 percent of the main leaders' summit, he said.

"But with strong support from the local business sector and after shelling money in some prefectural projects, I became certain we had enough budget for the main summit the former bureaucrat said.

Suzuki said that at the of last year, he finally decided to declare Mie's candidacy because certain Abe's close adviser told him to do so.

"I had to do it on Jan. 21 and while waiting for the G-7 summit."

"We would like to discuss for next year



開催決定時の安倍首相の発言要旨

<6月5日(金):エルマウ・サミット出発前の羽田空港での会見>

・日本の美しい自然、豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わっていただける場所にしたい。

・伊勢神宮は悠久の歴史を紡いできた。たくさんの日本人が訪れる場所で、日本の精神性に触れていただくには大変良い場所だ。

G7のリーダーたちに訪れていただき、伊勢神宮の荘厳で凜とした空気を共有できればよい。

・大小の島々、美しい入り江。志摩には日本の原風景とも言える美しい自然がある。日本のふるさとの情景を、リーダーたちに肌で感じていただきたい。あの絶景を共に楽しみたい。



<6月8日(月):内外記者会見>

・眼下に広がる志摩の豊かな海は、太平洋から、インド洋までつながっている。アジアやアフリカのたくさんの国々の思いを胸に、日本は、議長国として、世界の平和と繁栄のため、世界のリーダーたちと率直に話したいと思う。



・伊勢神宮を始め、日本の伝統や文化、美しい自然を、存分に味わっていただきたい。日本の「ふるさと」の素晴らしさを、世界に発信する機会にしてまいりたい。

首相官邸HPより

なぜ三重県に誘致？

最近の国際会議開催実績

- 1987年 4 月 四極通商サミット
(田村元通商産業大臣時)
- 2013年 5 月 日台観光サミット
- 2014年 6 月 神社本庁 A R C 伊勢会議

各国の首脳・閣僚級を
招いての国際会議は
30年近く開催されていない！



四極通商サミット

- ◇神宮式年遷宮を経て、次の20年に向けての新たなスタート
- ◇地域の経験値を上げる

国際観光地としてのレベルアップ
国内外での知名度向上

絶好の機会



日台観光サミット

地域の総合力向上へ

サミットを通じた「Mie」の「進化へのビジョン」

市民に「pride」を。市民自身が「active citizen」として、市民による「innovation」で発展していく地域へ。

あらゆる分野（投資、居住地、観光など）で、世界中から選ばれる地域へ。

MICE誘致や国際リゾート地として、日本やアジアをリードする存在へ。

世界やアジアをリードする次世代グローバルリーダーの育成へ。

日本が誇る良き伝統を守り続ける中心地として存在感を更に増す。

海外プレスツアー

ジュニアサミットなど

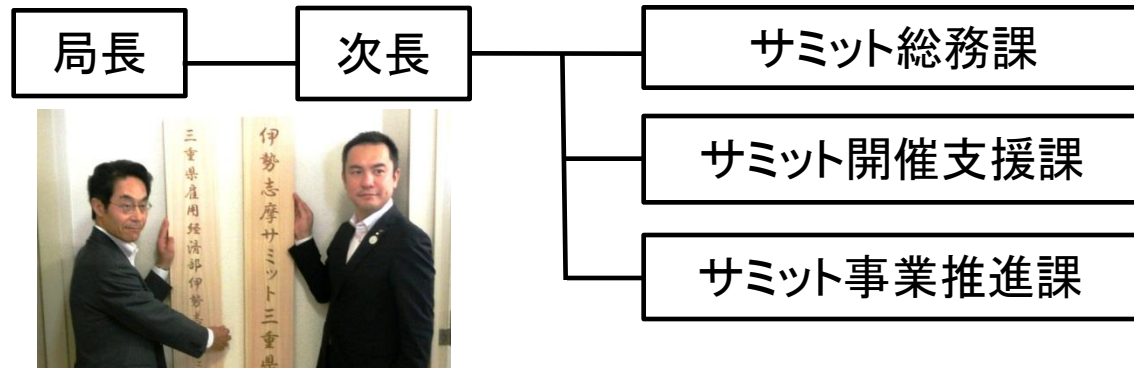
県産食材や伝統工芸品の発信

配偶者プログラム

国際リゾート地としてインフラ整備
（WIFI整備、多言語表示など）

推進体制(1)

みえ伊勢志摩サミット推進局



伊勢志摩サミット三重県民会議



・官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立

三重県伊勢志摩サミット推進本部



・庁内横断組織

推進体制(2)

国（首脳会議の運営）

目標：2億円以上

県民会議事業（主体＝直轄）

県民会議が直接行う事業

企業・団体等との協賛事業

県の
連携事業
（主体＝県）
県が主体

市町の
連携事業
（主体＝市町）
市町が主体

応援事業（主体＝企業等）

企業・団体等自らが実施主体となり、
県民会議等の活動に資する事業
（民間ベースで対応＝**タイアップ**）

寄附金等

企業・団体・個人（ふるさと納税）からの金銭による県民会議事業への支援協力

協賛

企業・団体が県民会議事業や連携事業において活用する物品等の提供を通じて支援協力

経済効果(1)

◆九州・沖縄、北海道洞爺湖の各サミット

平成27年6月9日朝日新聞朝刊

九州・沖縄サミット

- ・名護市の2014年度の宿泊者数124万人(00年から倍増)
- ・「かりゆし」の製造枚数 00年:11万枚→13年:43万枚(4倍増)
- ・市商工観光課「サミットで観光地としての知名度が上がった」

経済効果
約440億円
(開催前の試算)

北海道・洞爺湖サミット

- ・洞爺湖町の2014年度の宿泊者数 08年度より9%少ない62万人
- ・サミット会場になったホテルは昨年、売却された
- ・地元観光協会「サミットがなければもっと減っていたかも」

経済効果
約350億円(試算)

◆伊勢志摩サミット

百五経済 研究所

・全国では**510億円**、
うち三重県内は**130億円**

(直接効果。国・県の直接関係予算を270億円と想定)

洞爺湖サミットの10倍以上!

大和証券

・観光消費額が5年間で累積**1750億円増**

(ポストサミット効果。洞爺湖サミットは122億円。

奈良県と同程度の訪日外国人／日本人比率を想定。県の訪日外国人観光消費額が平成25年の22億円の17倍の369億円程度、2020年には倍の700億円程度と期待)

経済効果(2)

シルバーウィークの 旅行者が急増

- 楽天トラベル: 宿泊予約数の増加率が
三重県全国3位。
- 志摩エリアは昨年同時期に比較し
7倍以上の増加。(7月22日)

首都圏営業拠点「三重テラス」の 来館者が増加

- ・ サミット開催決定以降の1週間で
対前年度比22.8%増加 (10,709人)
- ・ 8月来館者数
対前年度比34.1%増加
歴代2位の来客 (67,534人)
- ・ 9月の売上
過去最高の売上げ (2,540万円)

みえ旅プレミアム旅行券 売れ行き好調!!

宿泊費が最大で半額になる
「みえ旅プレミアム旅行券」

- 楽天トラベルでは、販売初日(5月30日)と
比較して、サミット決定の翌日(6月6日)の
予約件数が2倍に増加。
- コンビニで販売する旅行券(1万枚)は
4分で完売。(6月16日)



伊勢志摩サミット開催による期待と懸念

百五経済研究所実施のアンケート結果

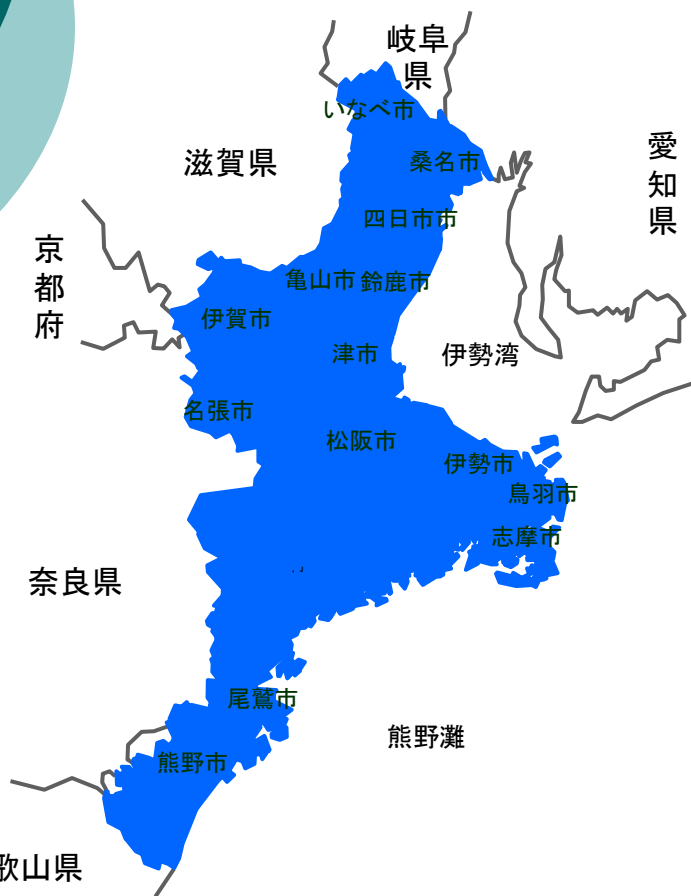
三重県の1140社と愛知県の284社を対象に実施。466社から回答

期待	①伊勢志摩地域の知名度アップ	50.1
	②三重県東海地域の知名度アップ	42.4
	③国内外からの観光客数の増加	39.4
	④期間中の関連産業への経済効果	29.1
	⑤道路、通信環境などの整備	25.9
懸念	①交通渋滞	75.8
	②過剰警備	48.0
	③テロ行為の脅威・可能性	41.1
	④開催期間中の観光客の減少	14.8
	⑤外国人来訪者の受け入れ態勢不備などによるイメージ悪化	9.5

交通渋滞などの懸念はあるものの、多くの企業がサミットに期待

三重県の概要

- ・日本の中央に位置する三重県は、南北に細長く、山地・平野・海岸地域と変化に富んだ地形と美しい自然に恵まれています。
- ・古くから開けた三重県は、伊勢神宮をはじめ、世界遺産熊野古道など、数々の文化的資産を有するほか、伊勢志摩国立公園やF1グランプリが開催される鈴鹿サーキット、また大規模遊園地・テーマパークなどの観光資源も充実しています。



項 目	データ	全国順位	参 考
人 口	185 万人	22位 (H22年度)	人口増減率：全国第18位 (H22年度国勢調査)
老年人口 割合	26.2 %	28位 (H25年度)	
面 積	5,777 km ²	25位 (H25年度)	自然公園面積割合： 全国第3位 (H25年度)
一人当たり 県民所得	2,932 千円	12位 (H24年度)	H23年度は全国21位 (2,735千円)

優れた交通アクセス

日本のほぼ中央に位置する三重県は、中部圏と近畿圏の両方に属し、鉄道のほか、東名阪自動車道や第二名神高速道路、幹線国道が充実し、二大都市圏へのアクセスが便利です。また、中部国際空港へのアクセス、港湾施設など、海外からのアクセスも充実しています。



三重県産業の特徴

都道府県別成長率
(2011-25年)
三重県が第1位

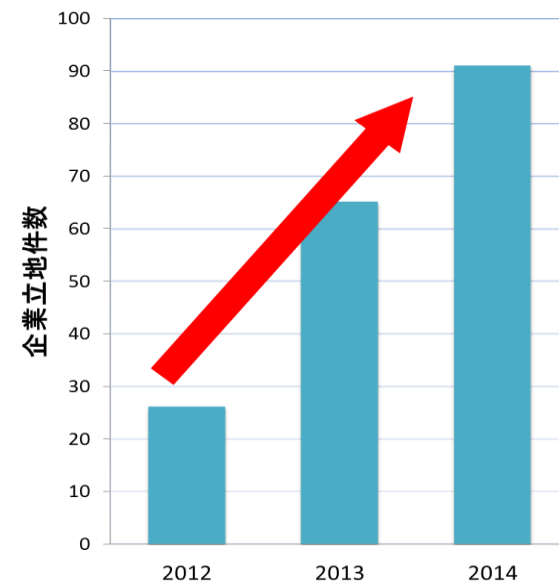
※公益社団法人 日本経済研究センター
による中期経済予測

実質産出額伸び率

順位	都道府県名
1	三重県
2	愛知県
3	石川県
4	群馬県
5	島根県

製造品出荷額ランキング

	電子機器・部品	輸送用機器	石油化学製品
1	MIE	Aichi	Chiba
2	Nagano	Sizuoka	Osaka
3	Saitama	Kanagawa	Kanagawa
4	Osaka	MIE	saitama
9	Siga	Tokyo	MIE



三重のグローバルカンパニー

Electronics Parts and Devices

Toshiba, SanDisk, Sharp, Fujitsu, etc.

Medical

ROHTO Pharmaceutical .
Chugai Iyaku .
Milbon . etc

Chemical Processing

Mitsubishi Chem., JSR,
Ajinomoto, Toso,
BASF Japan,
Evonik(NipponAerosil)
Showa Shell , etc

Transportation Manufacturing

Honda, Toyota,
NTN, Denso, etc

SMEs that support larger enterprises



三重のサプライチェーンはこれらの企業がおよそ1時間の移動範囲の中に集結

2. 三重県の予算、決算



伊賀上野城

藤堂高虎により築城され、現在は当時の内堀と石垣、昭和10年に建てられた天守閣が残っています。(伊賀市)

平成27年度当初予算の概要

- ・「みえ県民カビジョン・行動計画」の最終年度において、行動計画に掲げた目標達成に向け必達意識を持って臨むことを基本方針として、平成26年度2月補正予算と合わせ一体的に編成。
- ・統一地方選挙を踏まえ、公共事業費を前年度当初予算の80%程度として機械的に計上するなど「骨格的予算」として編成。
- ・将来世代に負担を先送りしない、持続可能な財政運営を確立するため、臨時財政対策債等を除く県債残高を減少させるとともに、総人件費を抑制するなど、財政健全化のための取組を継続。

まち・ひと・しごと創生の推進 ～希望がかない、選ばれる三重をめざす～

- ◎ 「学ぶ」～若者の県内定着に向けて～
 - ・県内高等教育機関相互や県内高等教育機関と地域との連携による魅力向上を促進するとともに、高校生等に対し、地域や県内高等教育機関の魅力を発信する。
- ◎ 「働く」～質の向上と量の拡大～
 - ・地方創生を先行実施するための交付金や地域再生戦略交付金など国費も活用し、「航空宇宙」「ヘルスケア」「食」「林業」など重点分野・成長分野における商品開発支援や、沖縄国際物流ハブの活用などによる販路拡大の支援などにより、新規需要の獲得を図る。
 - ・国による企業の地方拠点強化に向けた税制措置にあわせて、本社機能を三重県に移転する企業への補助制度を創設する。ビッグデータ活用により県外在住者の再来訪を促し、また、海外からの観光誘客についても着実に県内消費につなげていく。さらに、三重の魅力を世界に発信し、多くの人を呼び込むため、G8サミット関連には1億円の財源を確保して取り組む。
- ◎ 「暮らす」～三重の魅力向上と発信～
 - ・県内外から多くの人を呼び込むため、三重の自然の魅力をまるごと発信したり、子どもを対象とした参加型しごと体験事業を実施するとともに、MieMuを活用して三重の地域資源を発信する。

少子化対策Ver.2～結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重への挑戦～

- ・少子化対策については、平成27年度を初年度とした5か年計画「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、平成26年度に引き続き実施していく。その中で、不妊等に悩む家族に対し、特定不妊治療と不育症治療に一般不妊治療を加えた総合的な経済的支援を行うとともに、ひとり親家庭に係る放課後児童クラブ利用料への補助制度創設など、放課後児童対策を充実する。

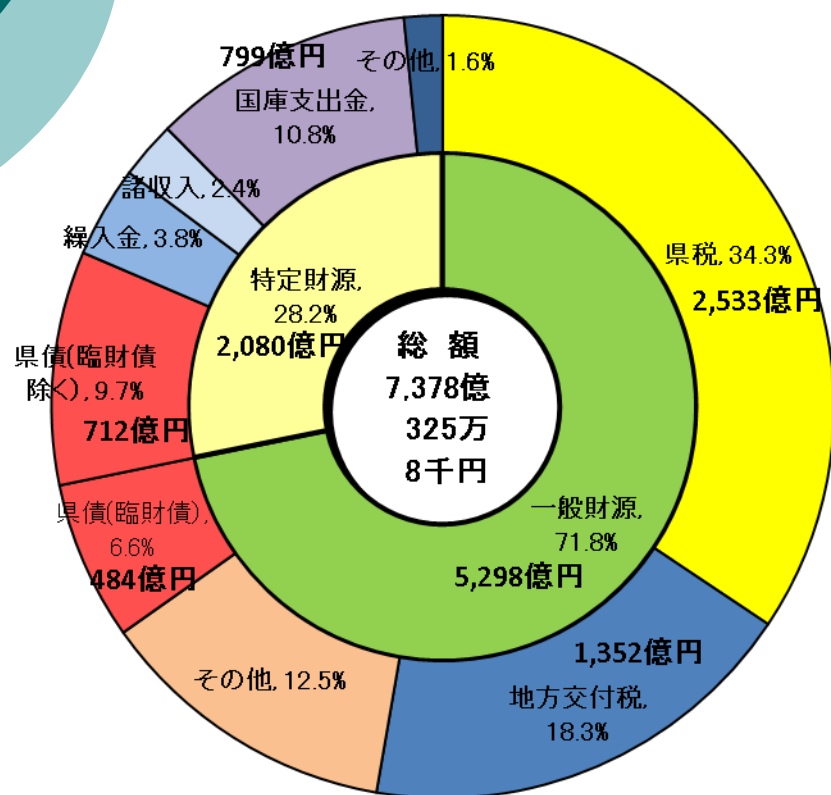
複雑化・深刻化する危機に備える緊急的な取組

- ・激化する自然災害に備え、土砂災害警戒区域の指定推進に向けた基礎調査の加速や土砂災害防止施設の整備を進めるとともに、河川堆積土砂の撤去を推進し、さらに公共土木施設のメンテナンスサイクルを確立して老朽化対策を推進する。
- ・日常生活に潜む脅威への対応として、ストーカー・DV被害者等保護対策や性犯罪・性暴力被害者の支援、インターネットバンキング不正送金事犯対策、危険ドラッグ緊急対策を実施する。

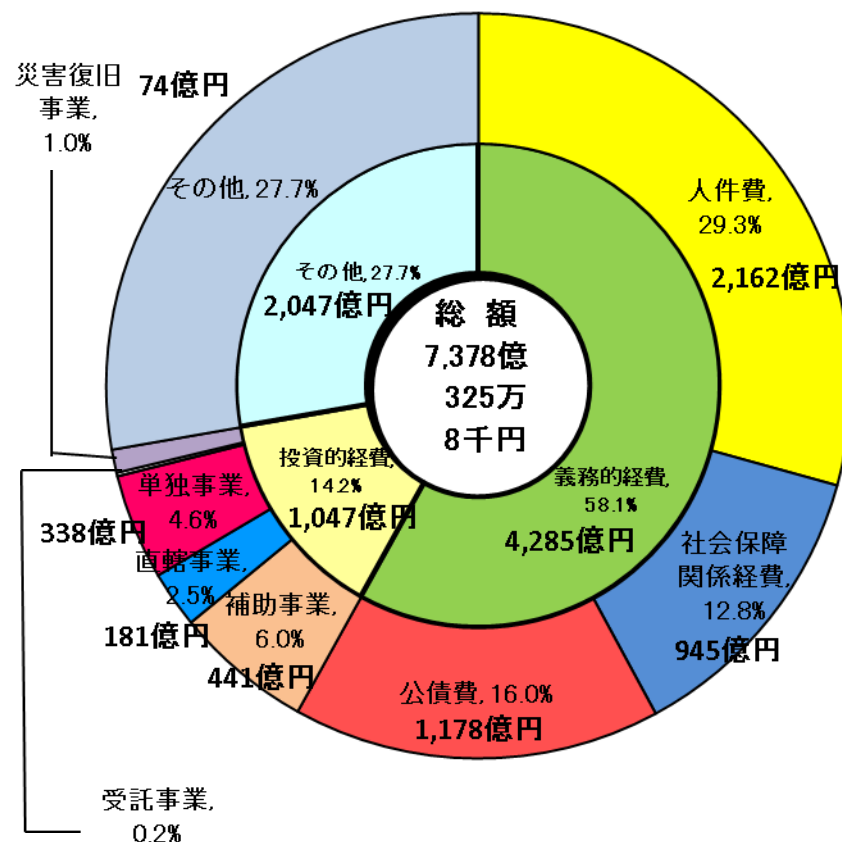
平成27年度6月補正後一般会計歳入・歳出予算

※平成26年度2月補正予算を含む。

歳入予算



歳出予算

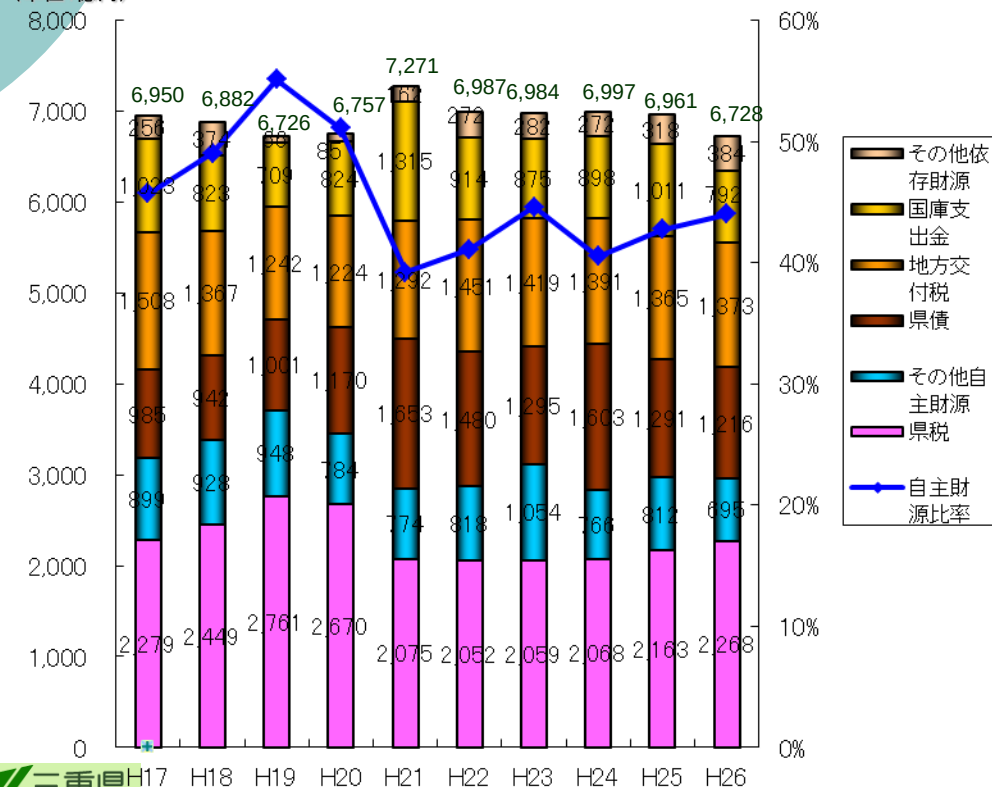


普通会計歳入決算の推移

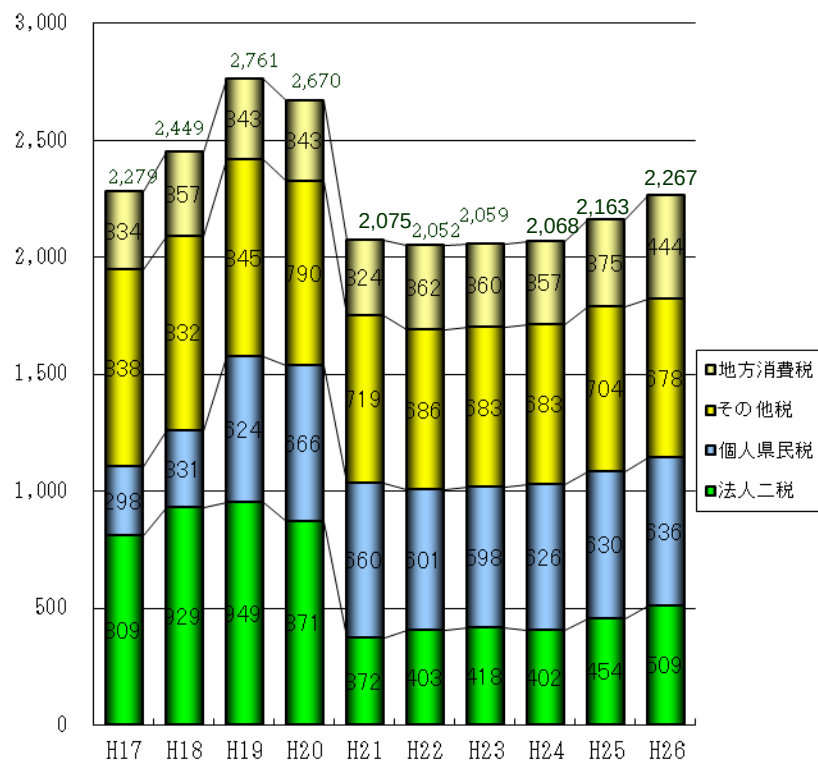
- ・平成26年度の歳入決算は6,728億円と前年度比233億円の減収となった。
- ・平成26年度県税収入は、法人の業績回復による法人事業税及び法人県民税の増や、税率の引上げによる地方消費税の増などにより増加

普通会計歳入決算の推移

(単位:億円)

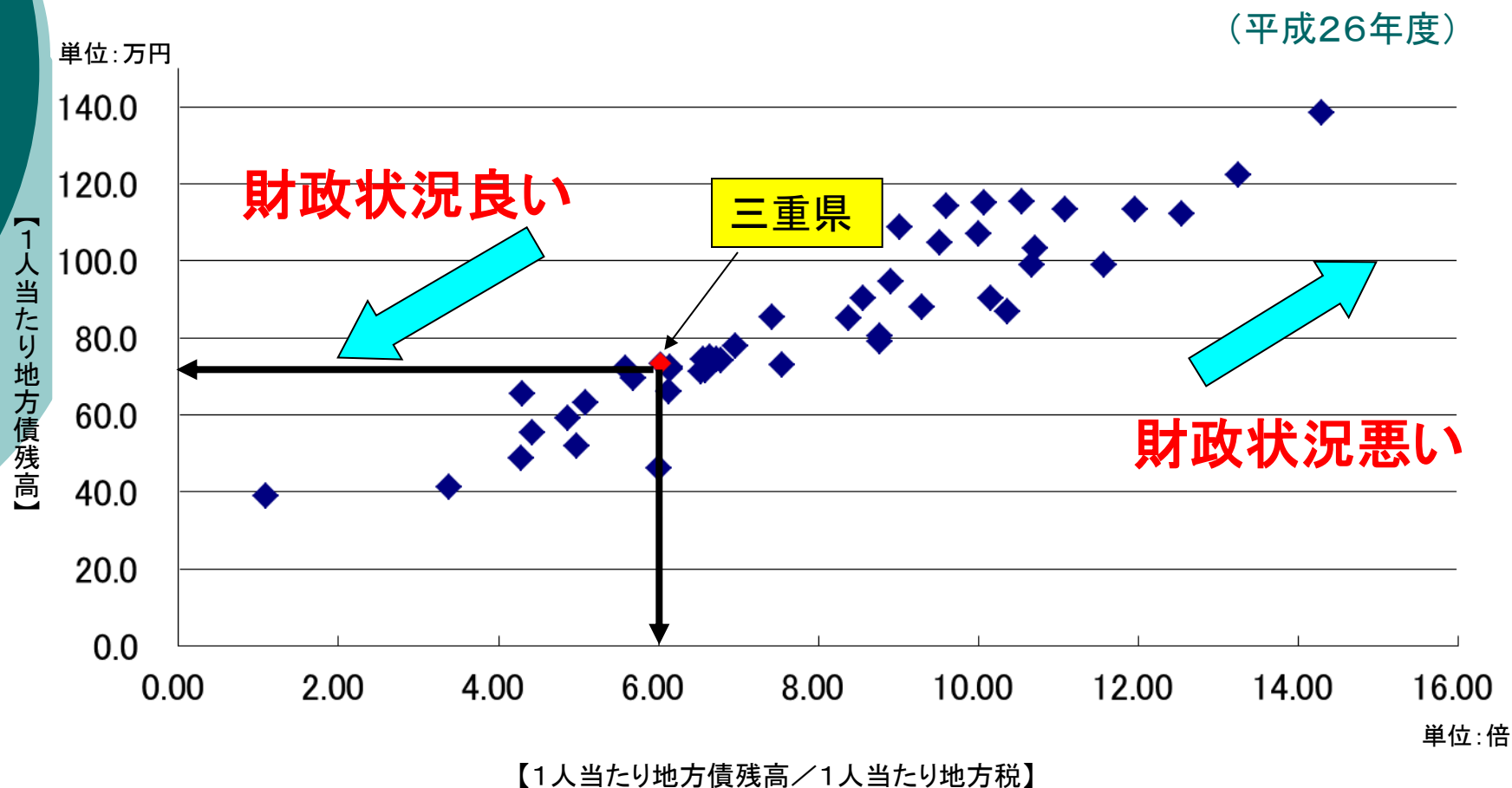


県税収入の推移



県民1人当たり地方税と地方債残高

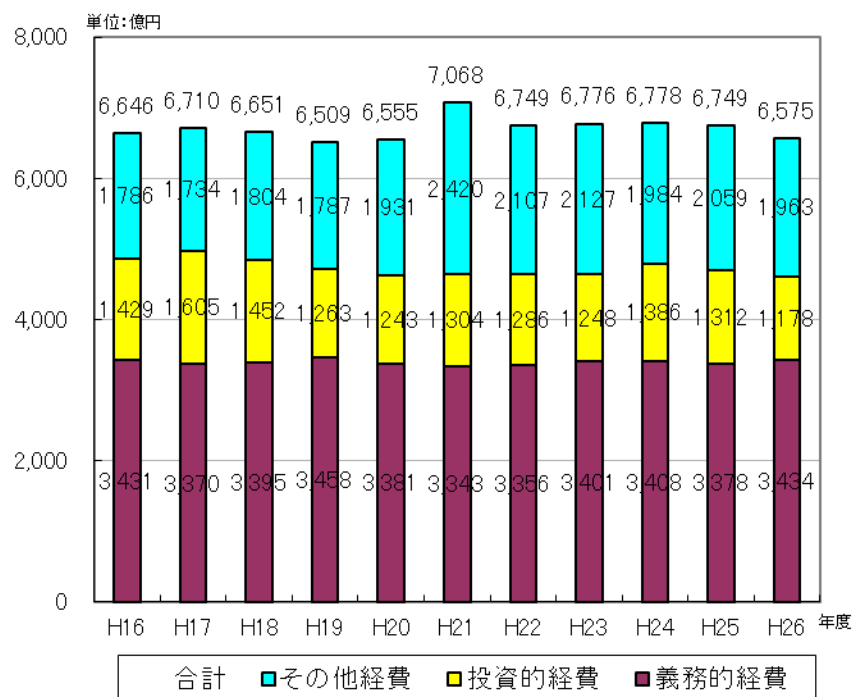
- ・1人当たり地方債残高／1人当たり地方税 6.02倍(全国第12位)【前年度9位】
- ・1人当たり地方税 → 12.2万円(全国第8位)【前年度8位】
- ・1人当たり地方債残高 → 73.4万円 (全国第18位)【前年度13位】



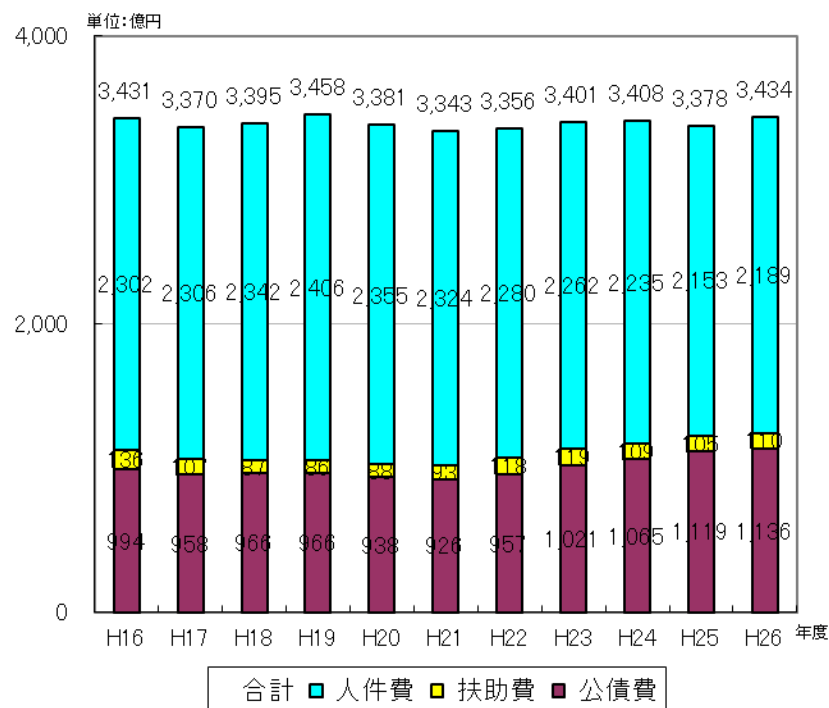
普通会計歳出決算の推移

- ・義務的経費は、近年は横ばい傾向にあるものの、H26は公債費及び人件費が増加(対前年度比1.7%(56億円)増)。
- ・投資的経費も、近年は横ばい傾向にあるものの、H26は普通建設事業費及び災害復旧事業費が減(対前年度比10.2%(134億円)減)。

普通会計決算額の推移

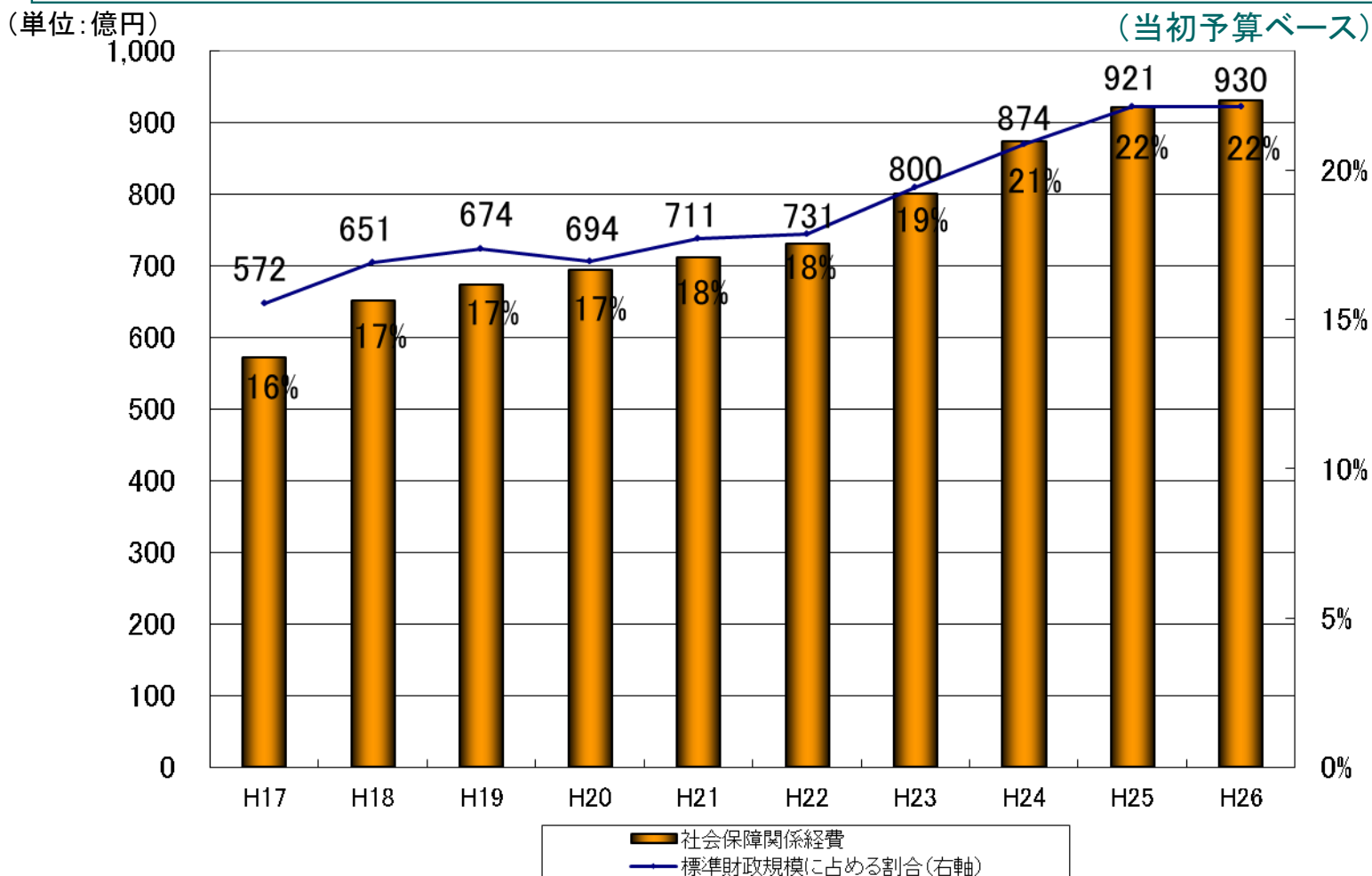


義務的経費の状況



社会保障関係経費の推移

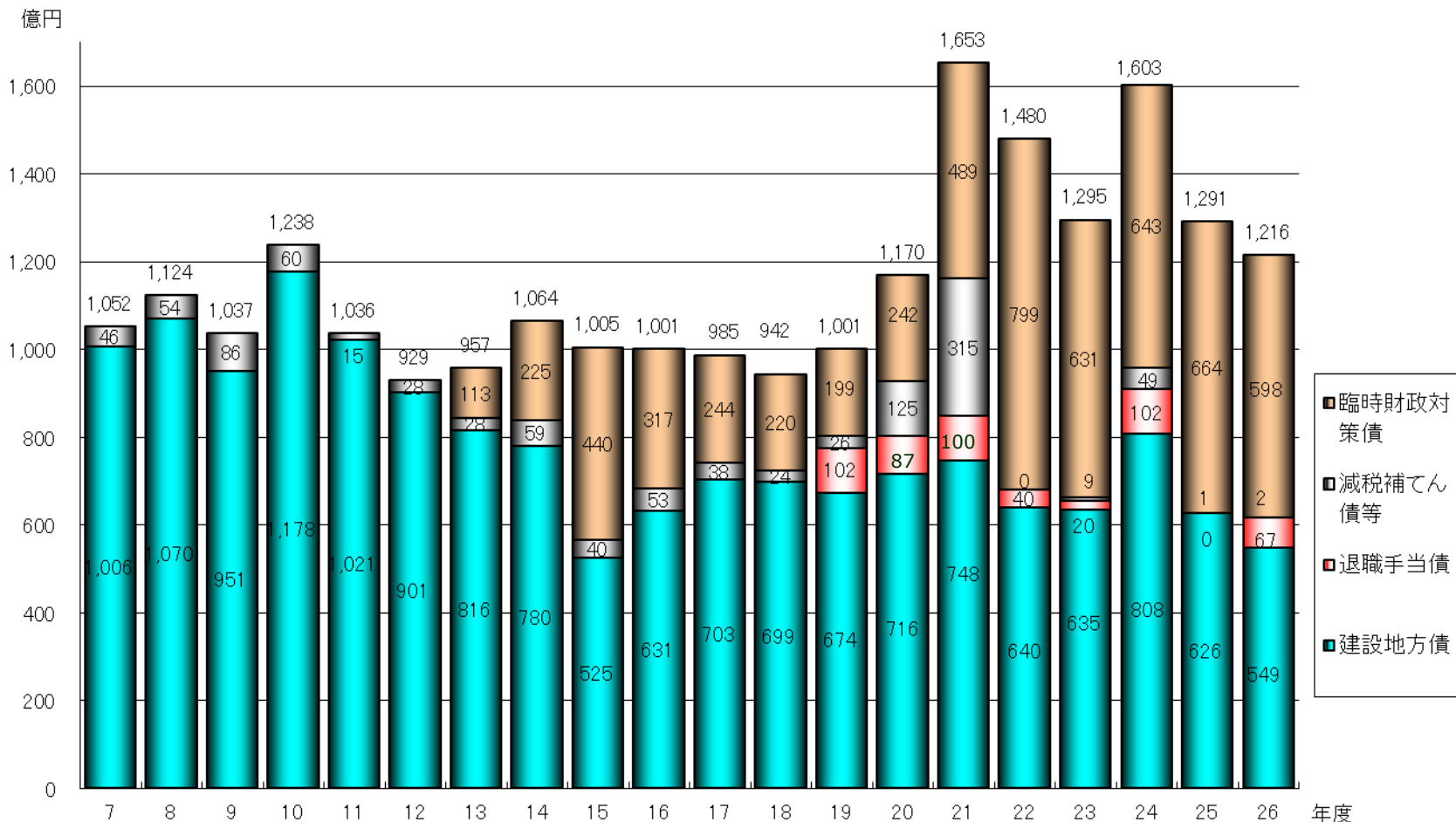
- ・高齢化率の上昇に伴い、年々増加(三重県の老年人口割合 26. 2%【H25 全国第28位】)。
- ・国の制度改正等による変動も想定されるが、今後とも増加が見込まれる。



社会保障関係経費: 扶助費と扶助費的な補助金

県債発行額の推移

- ・平成15年度以降は、臨時財政対策債や退職手当債といったいわゆる特例債の占める割合が高い。
- ・平成21年度以降は、県税収入の落ち込みに伴い、財源不足が拡大した結果、国による臨時財政対策債の配分額が大幅に増加している。

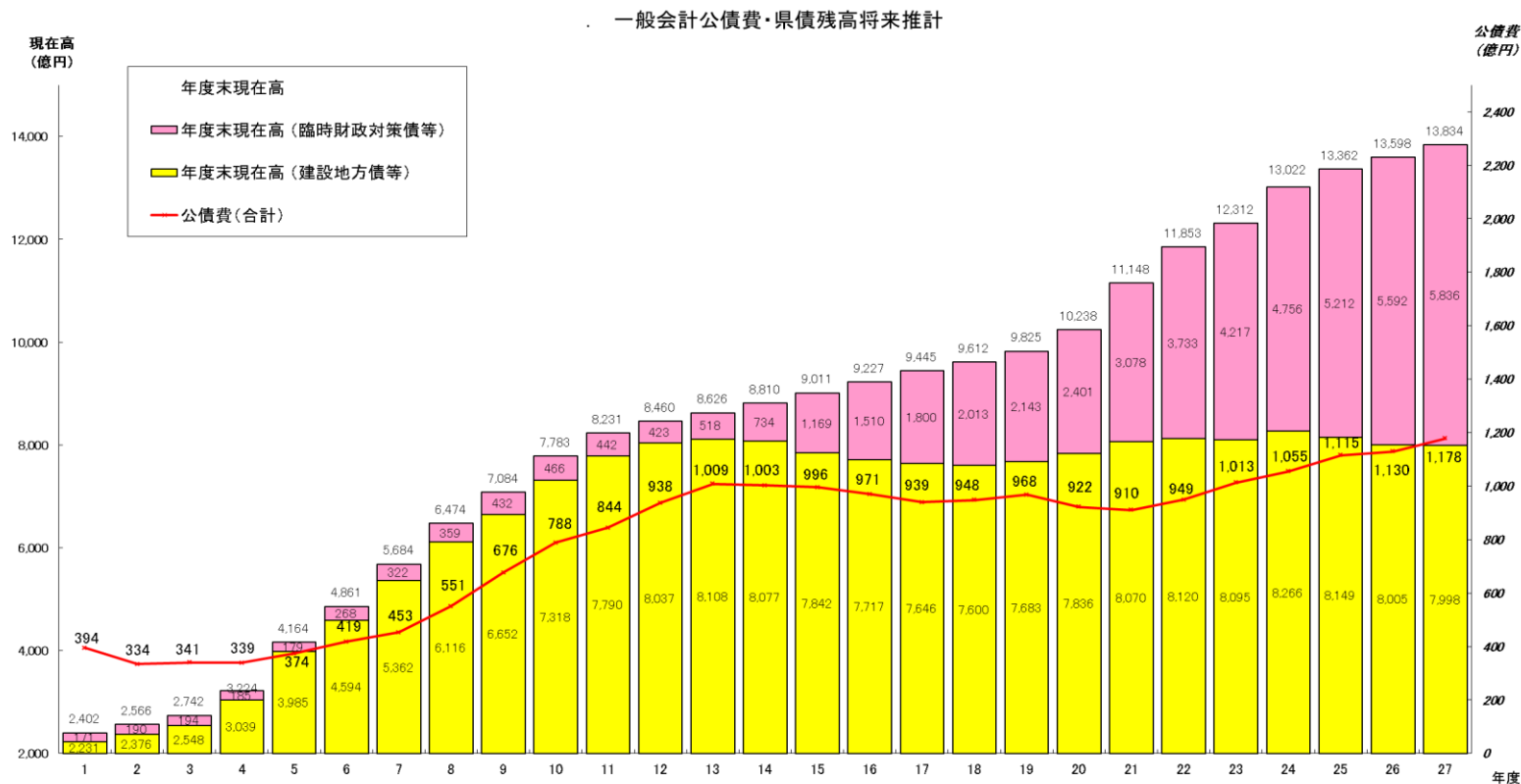


※減税補てん債等は、「減税補てん債」、「減収補てん債(特例分)」及び「臨時税収補てん債」をいう。

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

公債費・県債残高の推移

- ・公債費(折れ線グラフ)は、臨時財政対策債の増加に伴い伸びており、平成23年度には1,000億円に到達した。
- ・県債残高(棒グラフ)は、平成20年度末に1兆円を超えたが、臨時財政対策債等を除いた建設地方債については、ほぼ横ばいで推移。

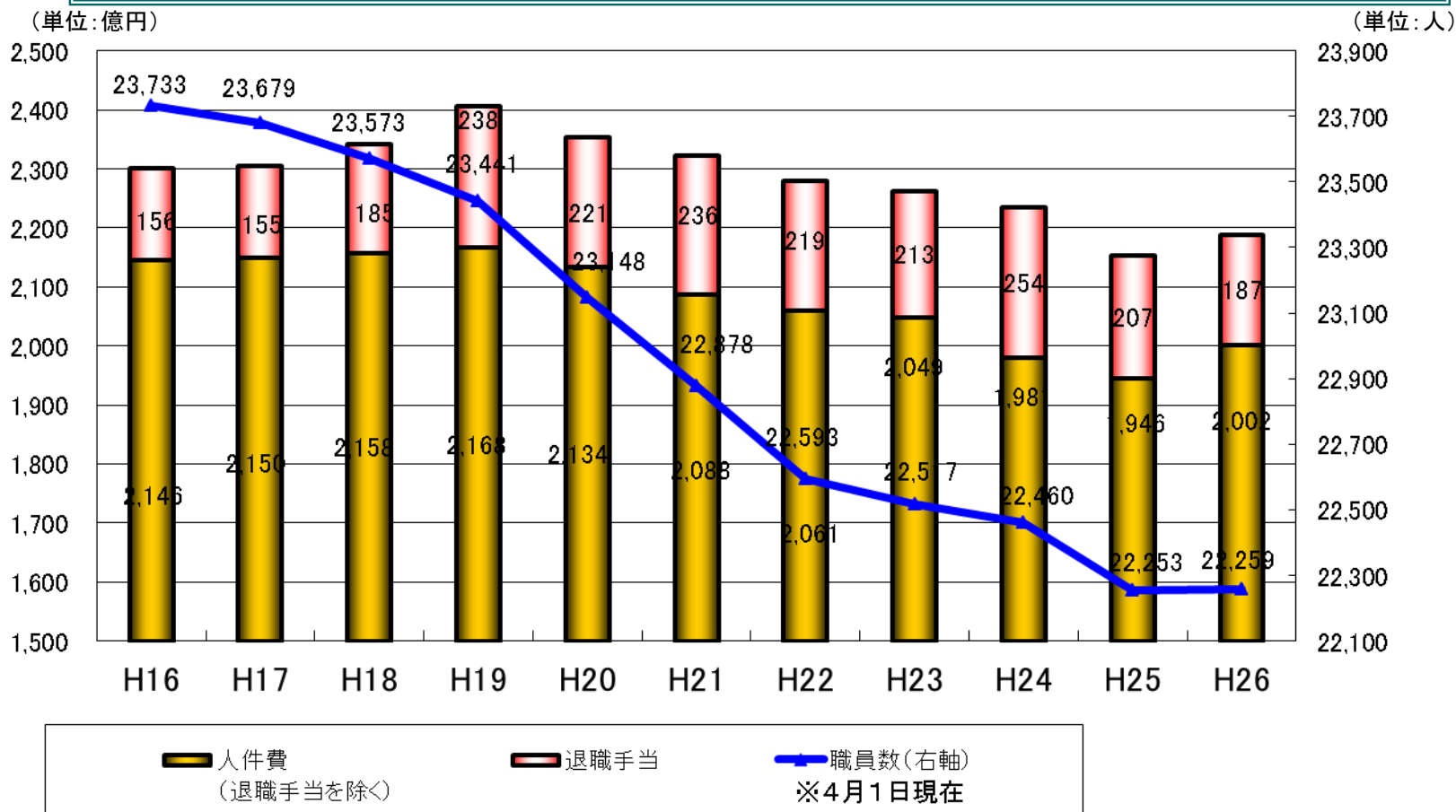


(注1) 県債発行額は、平成26年度までは決算額、平成27年度は6月補正予算額後の数値。

(注2) 「臨時財政対策債等」とは、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「減収補てん債(特例分)」及び「臨時税收補てん債」をいう。

人件費及び職員数の推移

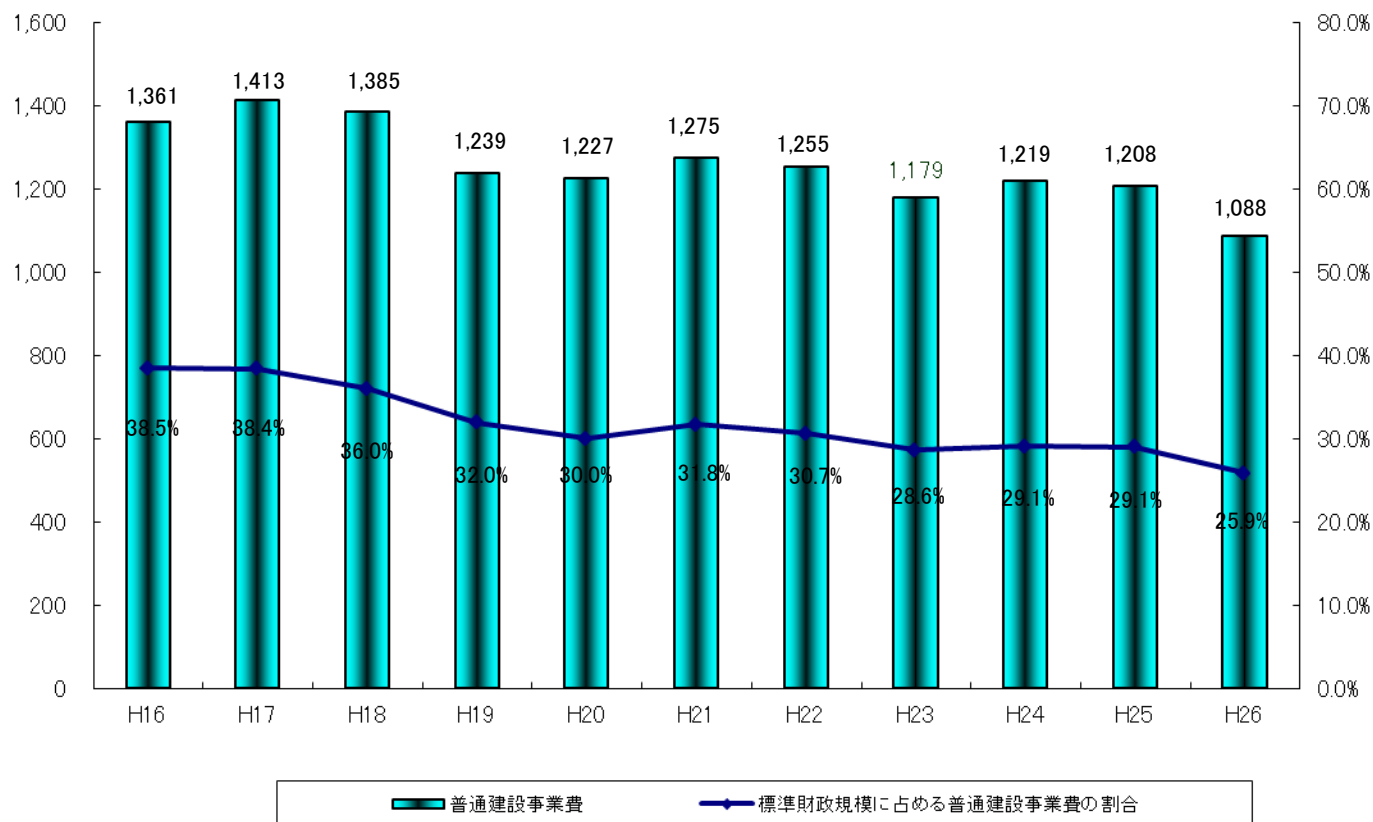
- ・職員数については、H16年度からの10年間で1,474人(6.2%)削減されており、これに伴い人件費は減少傾向。但し、H26年度は対前年度で36億円増。
- ・退職手当については、団塊世代の職員が退職を迎えるのに伴い、H19年度以降、200億円を超える高い水準を維持。但し、H26年度は187億円となっている。



普通建設事業費の推移

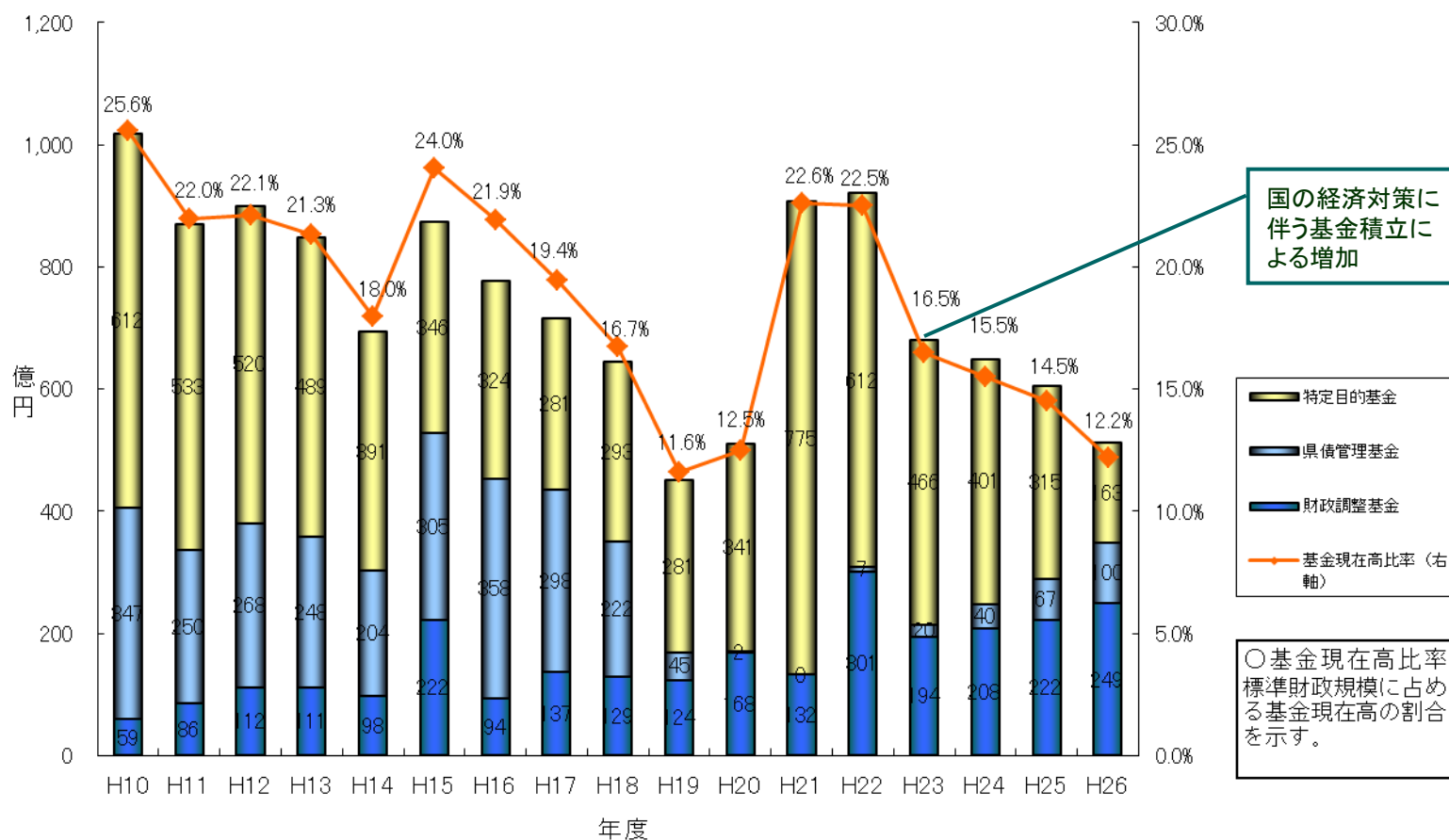
- ・普通建設事業費は減少してきた後、近年は概ね横ばい。但し、H26は対前年度比で9.9%減の1,088億円。
- ・標準財政規模に占める普通建設事業費の割合は38.5%(H16)⇒25.9%(H26)まで減。

(単位: 億円)



基金残高の推移

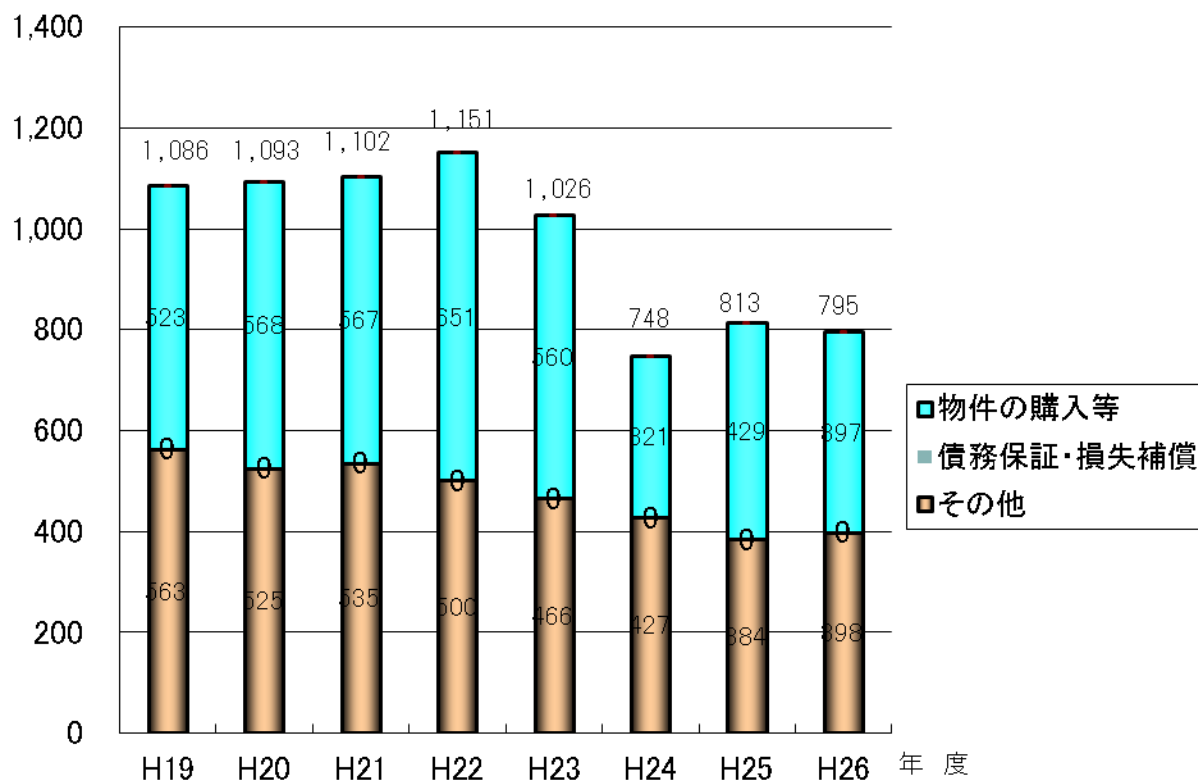
- ・平成26年度末残高は、対前年度比91億円の減少の512億円。
- ・県債管理基金には、市場公募債発行額の30分の1を、発行初年度である平成22年度から積み立てることとしており、積立不足はない。積み立てた基金は、地方債にて長期運用し、調達コストを軽減。



債務負担行為の推移

債務負担行為にかかる翌年度以降の支出予定額は、将来負担比率のうち5.6%と相対的に低い状況。

単位: 億円



※「その他」には、国営土地改良事業負担金を含む。

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

バランスシート(普通会計)

平成20年度決算から総務省方式改訂モデルに基づき、普通会計の財務書類4表を作成・公表。

普通会計バランスシート

(単位: 百万円)	平成25年度	平成26年度		平成25年度	平成26年度
公共資産	2,653,725	2,629,662	固定負債	1,444,338	1,450,107
(内訳)			(内訳)		
有形固定資産	2,653,157	2,629,082	地方債	1,249,238	1,269,857
売却可能資産	568	580	長期未払金	6,898	5,937
投資等	227,138	214,881	退職手当引当金	188,067	174,219
(内訳)			損失補償引当金	135	94
投資及び出資金	141,964	144,635	流動負債	132,656	140,378
貸付金	36,955	34,819	(内訳)		
基金等	38,856	26,351	翌年度償還予定地方債	99,949	106,159
長期延滞債権	10,138	9,737	短期借入金(翌年度繰上充用額)	-	-
回収不能見込額	△ 775	△ 661	未払金	-	-
流動資産	52,010	51,697	翌年度支払予定退職手当	21,004	22,212
(内訳)			賞与引当金	11,702	12,007
現金預金	50,037	50,197	負債合計	1,576,994	1,590,485
未収金	1,973	1,500	純資産合計	1,355,879	1,305,755
資産合計	2,932,873	2,896,240	負債・純資産合計	2,932,873	2,896,240

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

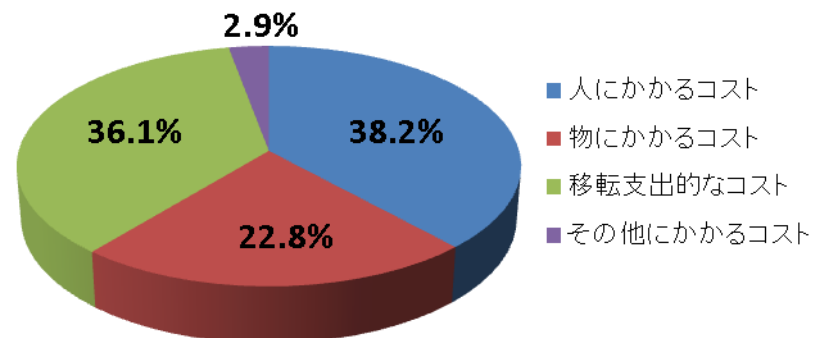
行政コスト計算書(普通会計)

- ・行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない行政サービスの経費を総合的に示すもの。
- ・行政コストは、5,441億円(県民一人当たり288千円)であり、「人にかかるコスト」が38.2%と大きな割合を占めている。

県民一人当たり行政コスト

性 質 別	平成26年度末	構成比
1 人にかかるコスト	112千円	38.2%
2 物にかかるコスト	67千円	22.8%
3 移転支出的なコスト	106千円	36.1%
4 その他にかかるコスト	8千円	2.9%
行政コスト 合計	293千円	
1 使用料・手数料	4千円	
2 分担金・負担金・寄附金 (市町村からのものを除く)	1千円	
経常収益 合計	5千円	
(差引)純行政コスト	288千円	
住 基 人 口 (H27.1.1)	1,860,113人	

【行政コストの構成比】



3. 公営企業会計等の財務状況



二見夫婦岩の夕焼け

夫婦岩は古来より日の出遙拝所として知られてきました。沖合約700M先には猿田彦大神縁りの興玉神石(霊石)が鎮まり、夫婦岩はこの興玉神石と日の出を遙拝する鳥居とみなされています。(伊勢市)

公営企業会計の財務状況

- ・水道事業、工業用水道事業は引き続き純利益を計上。
- ・電気事業は2.1億円、病院事業は13.3億円の純損失を計上。

(単位: 百万円)

区 分		水道		工業用水道		電気		病院	
		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
収 入 支 的	総 収 益	9,683	10,905	5,626	13,413	3,953	3,359	5,439	5,545
	総 費 用	8,254	8,660	4,923	12,883	3,720	3,572	5,658	6,870
	当年度純損益	1,429	2,245	703	529	233	△ 213	△ 219	△ 1,325
貸 借 対 照 表	資産の部	166,060	146,424	134,817	112,231	16,388	13,620	13,239	11,077
	固定資産	149,567	128,693	121,730	98,961	12,933	8,174	11,166	9,570
	流動資産	16,492	17,731	13,086	13,270	3,455	5,446	1,749	1,507
	その他	-	-	-	-	-	-	324	-
	負債の部	7,394	60,572	7,465	41,057	980	3,110	6,505	19,321
	固定負債	6,346	30,911	6,640	19,995	296	741	5,966	15,385
	流動負債	1,049	4,678	825	2,865	684	1,386	539	1,608
	繰延収益	-	24,982	-	18,197	-	983	-	2,329
	資本の部	158,665	85,852	127,352	71,173	15,408	10,510	6,734	△ 8,244
	自己資本金	80,159	81,337	67,572	68,725	12,964	12,964	311	311
	借入資本金	32,540	-	17,469	-	1,753	-	10,275	-
	剰余金	45,966	4,515	42,311	2,449	691	△ 2,454	△ 3,852	△ 8,555
財政健全化法の資金不足比率		-	-	-	-	-	-	-	-

※本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

※単位未満四捨五入のため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

地方二公社の財務状況

地方二公社の財務状況は健全であり、将来負担比率における将来負担額はありません。

(単位: 百万円)

区 分			三重県土地開発公社		三重県道路公社	
			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
出資	出資額合計		5.2	5.2	1,750.0	1,750.0
	うち本県出資額		5.2	5.2	1,750.0	1,750.0
損益計算書	経常損益	経常収益 ①	5,167	4,364	394	382
		経常費用 ②	5,057	4,276	238	186
		経常利益 ③＝①－②	111	88	156	196
	特別利益 ④		－	－	－	－
	特別損失 ⑤		－	－	－	－
	特別法上の引当金繰入額 ⑥		－	－	156	196
	当期利益 ⑦＝③＋④－⑤		111	88	－	－
貸借対照表	資産	流動資産	9,252	7,748	73	132
		固定資産	35	27	6,141	6,164
		投資その他資産	6,702	6,405	404	304
		資産合計	15,988	14,180	6,618	6,600
	負債	流動負債	4,985	6,623	240	160
		固定負債	5,003	1,469	395	262
		特別法上の引当金	－	－	3,233	3,429
		負債合計	9,988	8,092	3,868	3,851
	資本	資本金	5.2	5.2	1,750	1,750
		剰余金・準備金	5,995	6,083	1,000	1,000
資本合計		6,000	6,088	2,750	2,750	
債務保証額(期末残高)		4,111	3,524	450	358	
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)		－	－	－	－	
将来負担比率算定に係る将来負担額		－	－	－	－	

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

第三セクターに対する損失補償

損失補償契約に係る債務残高のある第三セクターの将来負担比率寄与度は、極めて小さい状況です。

(単位: 百万円)

区 分		公益財団法人 三重県農林水産支援センター		公益財団法人 三重県産業支援センター	
		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
出資	県出資額	1,865	1,825	647	647
	出資割合	80.6%	80.2%	49.1%	49.1%
正味財産増減計算書	経常収益 ①	345	335	1,580	1,323
	経常費用 ②	339	298	898	1,401
	当期経常増減額 ③=①-②	6	37	682	△ 78
	当期経常外増減額 (経常外収益-経常外費用) ④	148	2	△ 2,271	33
	当期一般正味財産増減額 ⑤=③+④	154	40	△ 1,589	△ 45
	当期指定正味財産増減額 ⑥	△ 326	△ 23	△ 650	△ 10
	当期正味財産増減額合計 ⑦=⑤+⑥	△ 172	17	△ 2,239	△ 55
貸借対照表	資産	2,745	2,752	11,265	11,123
	負債合計 ⑧	666	656	9,168	9,081
	指定正味財産 ⑨	2,016	1,993	2,032	2,022
	一般正味財産 ⑩	63	103	65	20
	正味財産 ⑪=⑨+⑩	2,079	2,096	2,097	2,042
	負債・正味財産合計 ⑫=⑧+⑪	2,745	2,752	11,265	11,123
債務保証額(期末残高)		-	-	-	-
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)		28	29	874	675
将来負担比率算定に係る将来負担額		20	20	106	69
将来負担比率寄与度		0.006%	0.006%	0.030%	0.020%
将来負担極めて小さい 主な業務		(主な業務)		(主な業務)	
		- 農地の借入・貸付及び農地の借入・売渡を行う農地中間管理事業及び集落営農組織経営力強化支援 - 農林水産業への新規就業・就職のための研修、相談及び労働環境改善への支援等 - 県産農林水産物の安心食材表示制度の認定、「みえの食」魅力創発の促進支援		- 県内自動車関連産業において、技術の高度化と雇用の創出を一体的に支援する。 - 起業・創業や第二創業を行う者に対して、創業に要する事業経費の一部を補助する事業 - 地域課題の解決や地域資源を活用した新事業創出や農商工連係への支援 - 特許等取得活用支援、希少金属代替材料開発プロジェクト等	

※単位未満四捨五入のため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

4. 財政指標



英虞湾の夕焼け

志摩半島で一番大きな入海。リアス式海岸の特徴をもち、賢島をはじめ無数に浮かぶ大小さまざまな島影が印象深く、真珠の養殖で有名です。(志摩市)

主な財政指標の推移

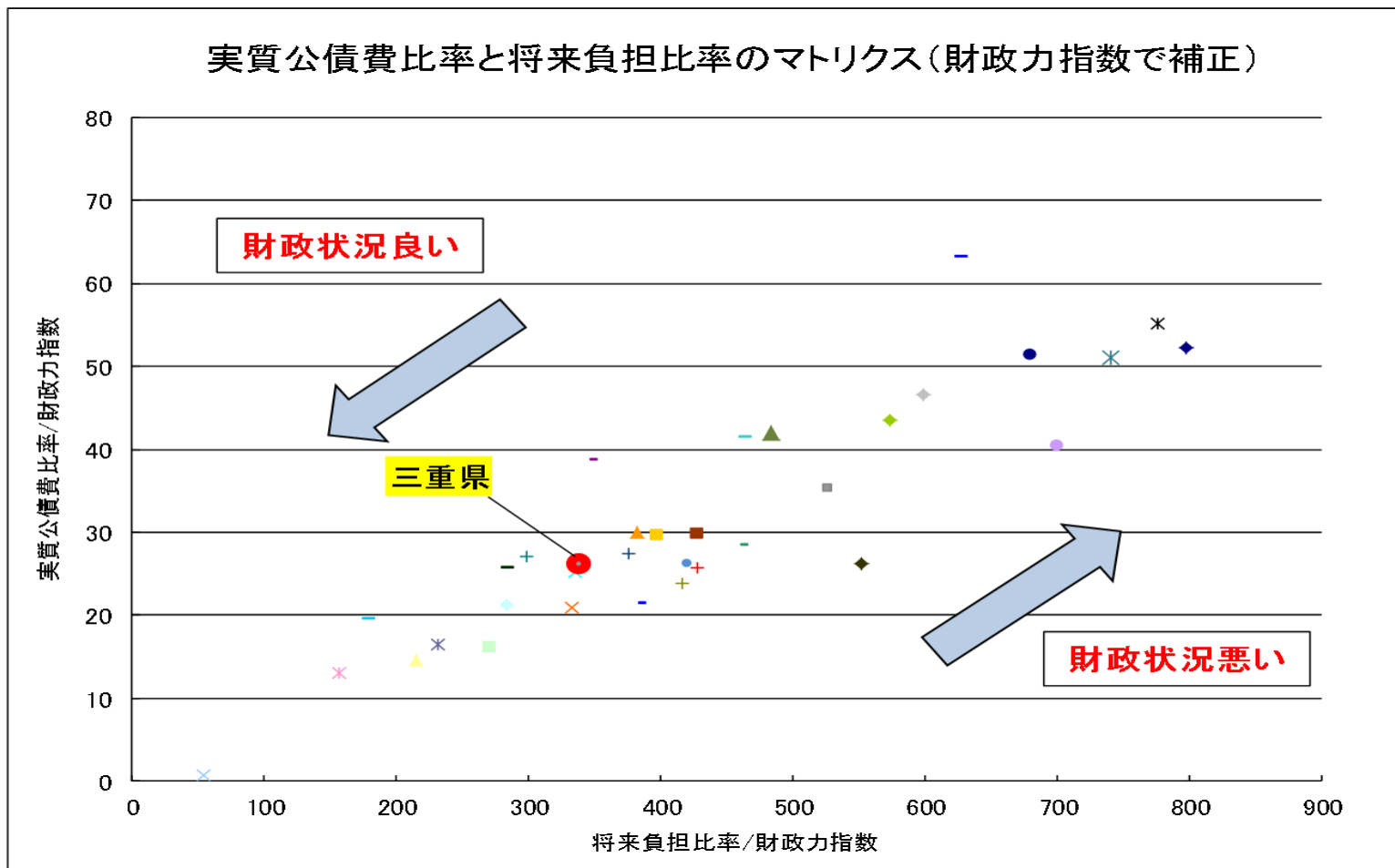
・財政力指数、経常収支比率及び将来負担比率は、いずれも前年度と比べて改善。実質公債費比率は前年度と比べて0.1%増加しているものの、財政力指数で補正した数値は改善。

	内 容		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
財政力指数	交付税の算定に用いる収入額を需要額で除した値(数値が大きいほど財政に弾力性がある)		0.586	0.618	0.615	0.574	0.546	0.538	0.554	0.561
		公募団体 順位	15	14	15	16	16	15	14	14
経常収支比率 (単位: %)	経常経費に充当した一般財源の額を経常的に収入される一般財源の額で除したもの(数値が小さいほど財政に弾力性がある)		98.6	94.8	94.1	91.0	97.1	94.9	96.1	95.8
		公募団体 順位	20	11	9	14	29	20	31	26
実質公債費比率 (単位: %)	公債費及び公債費に準ずる経費(公債費に相当する債務負担行為に係る支出)に充当した一般財源を一般財源で除したもの		12.6	12.6	12.7	13.0	13.6	14.1	14.6	14.7
		公募団体 順位	13	11	10	9	7	10	19	23
実質公債費比率 ／財政力指数	実質公債費比率を財政力指数で補正		21.5	20.4	20.7	22.7	24.9	26.2	26.3	26.2
		公募団体 順位	10	11	10	11	11	14	13	15
将来負担比率 (単位: %)	交付税措置のない負債残高等(地方公共団体全体の会計に加え、地方公社、第三セクターの負債も対象)を一般財源で除したもの		185.9	190.9	198.5	191.3	197.9	200.0	194.8	189.3
		公募団体 順位	3	3	6	7	9	13	15	17
将来負担比率 ／財政力指数	将来負担比率を財政力指数で補正		317.3	308.8	323.0	333.3	362.4	372.0	351.5	337.6
		公募団体 順位	6	6	8	8	9	10	11	12
資金不足比率 (単位: %)	公営企業会計ごとに、資金不足額が事業規模に占める割合		不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし
		公募団体 順位	—	—	—	—	—	—	—	—
地方債残高 ／標準財政規模	標準財政規模(一般財源のこと)に占める地方債の残高		2.56	2.52	2.80	2.91	3.00	3.13	3.27	3.25
		公募団体 順位	4	6	7	7	7	7	9	14

※公募団体順位は平成26年度時点の公募団体(34都道府県)を対象とし、数値の良い方からの順位。

実質公債費比率と将来負担比率（財政力指数補正）

- ・実質公債費比率と将来負担比率が低く、財政力指数が高い団体が財政が健全な団体。
- ・両比率をマトリクスにし、かつ財政力指数で補正することで、財政のバランスを評価。



※対象は、平成26年度時点の公募団体(34都道府県)。

5. 今後の県政運営



熊野古道(馬越峠)

紀北町と尾鷲市の境をなす峠。
一面にシダを敷き詰めた尾鷲檜
の美林の中に、約2kmにわたっ
て苔むした石畳道が続きます。
(紀北町)

三重県行財政改革取組（平成24年3月）

I 人づくりの改革

現場を重視し、県民の皆さんと共に「協創」の取組を進める、高い意欲と能力を持った人材を育てる「人づくりの改革」

II 財政運営の改革

将来世代に負担を先送りしない、持続可能な財政基盤の確立に向けた「財政運営の改革」

III 仕組みの改革

時代の変化に対応し、県民の皆さんに成果をより届けることができる「仕組みの改革」

（参考）中期財政見通し

【取組期間】平成24年度～27年度

三重県行財政改革取組・財政運営の改革

財政状況が一段と厳しくなる中、将来世代に負担を先送りしない、持続可能な財政基盤の確立が求められます。このため、事務事業の見直しや総人件費の抑制により歳出を見直し、効果的な税收確保対策や多様な財源の確保などにより歳入を確保するとともに、県債発行の抑制に配慮した健全な財政運営や県有財産の利活用など、「財政運営の改革」に取り組めます。

徹底した事務事業の見直し

徹底した事務事業の見直し

厳しい財政状況を踏まえ、徹底した事業の「選択と集中」を図る必要があることから、毎年度、事業の成果を検証し、翌年度の当初予算編成に反映します。

新たな財源確保対策

多様な財源確保策の導入

多様な財源確保のため、県有施設へのネーミングライツ(H26.10.1導入)、公用車への広告掲載(H24導入済、継続実施)や県行造林(※)におけるオフセット・クレジット制度の導入、職員駐車場の有料化など、新たな財源確保策について検討を行い、導入可能なものから、順次導入を進めていきます。

(※)森林資源の造成および林野の保全を図ることを目的として、県が土地所有者と契約を結び、民有林野(市町村有林野も含む)に対して造林を行い、その収益を土地所有者と分け合う仕組み。

H26末県債残高がH23末残高を下回り、目標を達成しました。

県債発行の抑制と予算編成プロセスの見直し

平成26年度末の県債残高(※)を減少に転換

平成26年度末の県債残高(※)が平成23年度末よりも減少するよう、歳入・歳出面でのさまざまな取組を行い、可能な限り県債の発行抑制に配慮した予算編成を行います。

(※)一般会計における県債残高。ただし、国の地方財政対策により決定される臨時財政対策債や災害に対応するための災害復旧事業債等、発行について県の裁量の余地のないものを除く。

予算編成プロセスの見直し

厳しい財政状況の中、限られた財源を的確に配分するため、より効果的・効率的な予算編成プロセスのあり方を検討し、平成25年度の当初予算編成からプロセスを見直しました。

中期財政見通し

「三重県民力ビジョン・行動計画」期間中(H24～H27)の財政規模は、一般会計の歳出額の合計は、2兆6,801億円程度、また歳入額の合計は、2兆6,517億円程度と推計され、これによる要調整額(財源不足額)は、284億円程度と見込まれています。

(単位:億円)

区 分		平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)
歳 出	人件費	2,211	2,251	2,269	2,271
	退職手当	225	226	242	244
	社会保障関係経費	861	902	928	966
	公債費	1,067	1,137	1,188	1,236
	税収関連交付金	617	628	643	654
	一般行政経費	1,937	1,802	1,669	1,562
	歳 出 計 A	6,694	6,719	6,699	6,690

歳 入	県税	2,067	2,092	2,150	2,189
	地方消費税清算金	348	354	363	370
	地方交付税(臨時財政対策債、減収補てん債を含む)	2,015	2,032	2,013	2,007
	国庫支出金	695	682	658	650
	県債	719	682	675	635
	その他	850	817	738	713
	歳 入 計 B	6,694	6,660	6,598	6,564
要調整額(A-B)		0	59	100	125

(単位:億円)

区 分		平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)
年度末地方債残高見込	臨時財政対策債等	4,736	5,126	5,497	5,845
	建設地方債等	8,232	8,224	8,185	8,096
	当初予算計上	691	671	663	624
	補正予算計上	26	26	26	26
	元金償還金	675	705	728	739
	元金償還金	675	705	728	739

※臨時財政対策債等:国の地方財政対策により決定される臨時財政対策債や災害に対応するための災害復旧事業債等、発行について県の裁量の余地のないもの。

※数値は、四捨五入によるため、各区分の合計と歳出計欄、歳入計欄の数値等が一致しないことがある。

6. 起債運営



丸山千枚田

丸山地区には小さな何枚もの水田があり、千枚田と呼ばれています。「一枚足りないと思ったら笠の下にかくれていた」といわれる位小さな田が幾重にもかさなり合って、その数、約1300枚強といわれています。(熊野市)

起債運営の基本的な考え方

○「将来負担の適正化」を十分考慮した県債管理

- ・ 事業の「選択と集中」により県債発行規模を圧縮
- ・ 元利償還に対して交付税措置があり将来負担の少ない起債事業を優先
- ・ 交付税措置に合わせた元利償還
⇒いたずらに償還期間を延伸せず、将来負担を適正化
- ・ 満期一括償還に備えた基金（県債管理基金）の積み立て
（発行初年度である平成22年度から、30分の1ずつ）

○「調達コストを最小化」させる起債運営

- ・ 銀行等引受債のシ団引受を主要な資金調達手段として継続実施
- ・ 超長期債の入札を実施することで、市場動向や投資家動向などを踏まえた適切な条件設定
- ・ 有利な条件で調達可能な共同発行市場公募債を活用
- ・ 県債管理基金に積み立てた資金は、地方債等による長期運用を行い、調達コストを低減

○「起債運営の健全性」を確保する県債管理

- ・ 5年、10年、15年、20年、30年の固定金利でバランスよく調達
- ・ 年間を通じた発行の平準化
⇒金利負担及び金利変動リスクを低減
- ・ 市場公募債の発行や入札の実施により、調達手段を多様化

今年度の起債概要

平成27年度発行計画(6月補正予算後ベース)

起債事業区分	建設地方債627億円、退職手当債72億円、臨時財政対策債484億円
資金区分	公的資金約231億円、銀行等引受シ団約642億円、 個別発行市場公募債100億円、共同発行市場公募債100億円、 超長期債(20年)入札100億円、超長期債(30年)入札10億円

平成27年度個別債発行計画

発行月(予定)	平成27年12月
条件決定日	未定
発行額	100億円
年限	10年(満期一括)

お問い合わせ先

■三重県総務部 財政課 企画・債権管理班

〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL 059-224-2119 / FAX 059-224-2125

Email zaisei@pref.mie.jp

■ホームページ

<http://www.pref.mie.lg.jp/ZAISEI/HP/kensai/>